

共同研究支援報告書

氏名	海地伊沙名
所属大学名	千葉大学
職位	特任研究員
研究題目	ブラジルのペロタス地域の小学校における子どものレジリエンス向上を目指した認知行動療法(CBT)プログラムの実施可能性と効果の検証 ～ブラジル・ペロタス連邦大学と千葉大学の国際共同研究の成果と今後について～

短期支援(1年)

長期支援(3年)

本年度の内容報告

千葉大学とペロタス連邦大学の心理学研究チーム (Duarte M, Molina M, Dias M, Gouvêa M, Sedrês K, Scheneider T) による国際共同研究では、子どものメンタルヘルスに関する多面的な取り組みを行っており、その活動内容を報告する。

まず、Resilience scale for children (RS-10) ポルトガル語版の信頼性・妥当性研究については、データ収集が完了している。今後はデータ解析を行い、国際雑誌に投稿予定である。

次に、子どものレジリエンス向上を目指した認知行動療法プログラムである「レジワールの冒険」については、ホームページや紹介動画が日本語、英語、ポルトガル語の3言語で完成した。また、ペロタス市内の小学校における同プログラム実践について、ペロタス連邦大学の倫理審査を通過し、今後プログラムを開始する予定である。さらに、在日ブラジル人を含む在日外国人に対する本プログラムの効果検証について、科学研究費助成事業（基盤研究(C)2026～2030年度）に採択され、プログラムのゲーム化も進行中である。

そして第二回日本・ブラジル国際集会（CONIBRA）の開催を目指し、準備を進めている。

成果(論文発表等)

Kaichi I, Kawasaki T, Molina M, Dias M, Gouvêa M, Noda Y, Okawa S, Duarte M, Hirano Y. Educational program aimed at increasing children's resilience: Procedures of the development and adaptation for Brazilian children, 12th Latin American Congress on Cognitive and Behavioral Psychotherapies (CLAPCCO), 2025・5

Hirose M, Kaichi I, Kawasaki T, Gouvêa M, Noda Y, Okawa S, Duarte M, Hirano Y. Evaluation of a cognitive behavioral therapy program aimed at improving resilience in Brazilian schools, 12th Latin American Congress on Cognitive and Behavioral Psychotherapies (CLAPCCO), 2025・5

佐々木翼, 磯部祐子海地伊沙名, 平野好幸. 子どものこころの健康を支えるための挑戦—千葉大学子どもこころの発達教育研究センター 国内外での取り組み—, 地球・宇宙・未来 181-190 2025年

備考